2020年4月8日

地区事務長経由

地区委員長各位

地区コミッショナー各位

団委員長各位

隊長各位

日本ボーイスカウト千葉県連盟
県連盟コミッショナー 片寄 朗

政府からの緊急事態宣言を受けて(お願い)

2020年4月7日に政府からの緊急事態宣言が、千葉県を含む7都府県を対象として発出されました。このことは、我々の活動にも大きな影響を与えることです。改めて4月4日に配信をした「新型コロナウイルス感染への対応について(第5報)」の徹底をお願いいたします。今後も国や都道府県の宣言・勧告があった場合は、これに従った対応をお願いいたします。

一方で、この時期に我々にできることについても各国スカウト連盟では、「Scouting Never Stops」を合言葉に、さまざまなアイデアを発信しています。また、日本連盟コミッショナーからスカウトにメッセージが発信され、日本連盟ホームページに掲載されています。是非、スカウトや保護者にご紹介されるようお願いいたします。また、スカウトへのメッセージも作成しましたので、ご活用頂ければと思います。

こんな時だからこそ「Scouting Never Stops」我々は力を合わせて前進しましょう。 _

記

1. 新型コロナウイルス感染への対応について第5報の通知内容の徹底をお願いします。特に「自粛の延長」を行うことの徹底をお願いします。

http://www.scout-chiba.jp/member/info_comissioner/4339/

2. 日本連盟コミッショナーからのメッセージ「Scouting Never Stops」の発信

<https://www.scout.or.jp/member/scouting-never-stops/>

3. 今できることと、「#おうちスカウティング」の発信

<https://www.scout.or.jp/member/scoutingathome/>

活動のヒントについて記載していますが、参考にしていただくとともに、さまざまなアイデアを発信いただくなどご協力ください。

※「#おうちスカウティング」

アクションを「#おうち各国では我が国以上に厳しい状況にあります。先週末、ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)特別版があり、例年行っているJOTIでは200万人がアクセスするところ、今回は500万人あったそうです。世界各地で、STAY AT HOME が叫ばれている中、WOSMでは「Scouting Never Stops」を合言葉としてこれを実施しました。このような動きがある中、日本での「Scouting Never Stops」の呼びかけとスカウティング」として発信しています。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 地区コミッショナー経由、県連盟コミッショナー片寄まで。

日本連盟コミッショナーからのメッセージ

次の週末、みなさんはどう過ごす予定ですか？こちら（東京）は、緊急事態宣言の発表を受け、普通の春とは全く異なる雰囲気、街全体が包まれることになりそうです。

活動自粛が始まってからもう、ひと月以上が経ちました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、街の状況をみながらの自粛継続をお願いしたところです。私たちはみな、事態の沈静化に向けて協力していかねばなりません。

このような事態だからこそ、スカウティングの原点に立ち返りたいと思います。私たちの「活動」は、決して、集まらなければできないものばかりではありません。一人ででも、自宅でも、できることはたくさんあります。

ビーバースカウトのみんな、ビーバーノートをひろげて、よんでみてください。そこには、おうちでできることがたくさんあります。おとうさん・おかあさんといっしょに、はじめてみてください。

カブスカウトのみなさん、カブブックを読んで、あたらしいことにチャレンジしてみましょう。家の中でなければできないこともたくさんあります。取り組んだら保護者の方にサインしてもらい、それを次の隊集会で、隊長に見せてください。隊長はきっと喜びでしょう。

ボーイスカウトの諸君、新しくなったスカウトハンドブックを手に、これまで学んだ技能がきちんと身についているか、確認しましょう。また、班長はぜひ、班員の近況を確認してください。電話でもLINEでも、ほんの一言の声掛けが班の絆を深めます。

ベンチャースカウトの皆さんにはぜひ、次のプロジェクトへの考察を深めるほかに、「いまの社会に対して、私達に何ができるのか」ということに、思いを巡らせてみてください。

ローバースカウトの皆さんなら、顔を合わせずともSNSなどで繋がり合うのも容易なことでしょう。ぜひ、「いまの社会に対して何ができるのか」話し合ってみてください。

家でもできること・一人でもできることは、たくさんあります。集会するときだけではなく、私達は、つねにスカウトです。こんなときだからこそ、ひとりひとりがちかいやおきてを实践し、身近な「善行」を行うことで、あなたの家族の明日と、社会の明日を守り・創ることに繋がります。まずは自ら率先して考え、行動する。さらには、家族など周囲の人を巻き込み、いまの社会をより良きものにしていく。それが、スカウトらしい姿なのではないでしょうか。

Scouting Never Stops いつの日も歩みを止めることなく、前へ進んでいきましょう。

日本連盟コミッショナー
福嶋 正己

ビーバースカウトのみなさんへ

いま、みなさんができることをたいせつに！！

まいにち、新型(しんがた)コロナウイルスのニュースがみなさんの耳にも目にもはいていますね。学校の先生も、ビーバー隊のリーダーも、もちろんおうちのかたも、とてもしんぱいしています。いま、みなさんにできることをかんがえてみましょう。

◇学校のべんきょうやうんどう

いままでにならったことは、きょうかしょをひらいてみてみましょう。

もっと知りたいことがあれば、おうちのかたとそうだんしてみてね。でも、むりはしなくてもだいじょうぶ。先生もじゅんぴをしてくれています。

うんどうは、家の中でも、おにわでもできることがありますよね。おともだちといっしょにできなくても、おうちのかたと楽しくあそんでみましょう。

◇ビーバースカウトとして

ビーバーノートをひらいてみましょう。

「せいかつ」のところにはいっぱいできることがあります。とくに⑦と⑧をやってみてください。

「けんこう」の①、②、⑦はできていますか。

「しぜん」の中の①、花や、やさいなどを、そだてる。もやってみませんか。

「ひょうげん」のいろいろなことに、ちょうせんしてみて、あとでみんなの前ではっぴょうしてみてもたのしいですね。

◎たいちょうから、“このはしょう”のシールをたくさんもらえるように、できたことにしるしをつけておきましょう。

◇なによりも、みなさんが元気で明るくすごしていることが、おとなはうれしくおもいます。

いま、みなさんにできることはたくさんあります。

ゆっくりと、ていねいに時間をかけてすることもたいせつです。

おうちのかたと、たくさんお話ししてください。

こんど、みなさんとあえたときには、いろいろなお話をきかせてくださいね。

たのしみにまっています。

カブスカウトのみなさんへ

カブブックを開いてみよう！

見えない敵（新型コロナウイルス）と戦うために「そなえよつねに」。新型コロナウイルスは目に見えないけれど、私たちのまわりにはどこでも、いつでもいるのです。新型コロナウイルスのために、学校もボーイスカウトの活動も休みになってしまいました。隊長たちリーダーも皆さんに会えずに本当に残念です。スカウトはこんな時こそ「そなえよつねに」を実行しましょう。「カブスカウトはすすんでよいことをします」

部屋の中でも、できることはたくさんあります。

チャレンジ章（カブブック）を開けてごらん！

チャレンジ章にちょうせんしてみよう。手伝い、料理博士はゲットしているかな。

国際、市民、案内、工作、気象学者など・・・お休みだからゆっくり取り組める項目がたくさんあります。自分の好きなことにちょうせんする良い機会です。

家の仕事の手伝いは！

「カブスカウトは自分のことを自分でします」以上に、家の仕事をしてください。

掃除は見えない敵をやっつけることに役立ちます。

自分の身は自分で守ることも、カブスカウトの大切な仕事です。

見えない敵＝ウイルスは、人の粘膜から侵入することが多いのです。粘膜とは目、鼻のあな、口びるや口の中などです。ウイルスがついた手でさわると、ウイルスは粘膜でさらに元気になるので、まず手を洗いましょう。うがいもしましょう。

学校が休みでも早寝、早起き、食べ物の好き嫌いをしないで何でも食べるなど、規則正しい生活を心がけましょう。

ベーデン・パウエルは「健康」には特に注意するようにスカウトに呼び掛けています。元気でなければ、人の役に立つことなどできません。敵＝ウイルスに負けない元気な体のために「そなえよつねに」です。そして、皆さんが元気で、愉快的スカウト活動ができる日が早く来ますように。

ボーイスカウト隊のみなさんへ

感染症の恐怖にすぐむ今だからこそ心がけてほしいこと

新型コロナウイルスの感染拡大によって突然学校が休みになって半月。皆さんはどのように過ごしていますか？この卒業式や入学式が予定通り行われずに残念な思いをしたかもしれません。突然長い春休み（本当は春休みではないけど）になって喜んだ人もいるでしょう。しかし行動が制限されることも多く、そろそろ退屈している人もいるかもしれませんね。

そんな皆さんに2つのことをお伝えします。

ひとつ目は、こんな状況ですが、スカウトの「ちかい」と「おきて」について考えるよい機会であるということです。皆さんはいま、家庭などで感染予防のために次のようなことを言われて実行しているはずで

毎日規則正しい生活を送り、睡眠を十分にとり、抵抗力を高める。

手洗いとうがいをこまめに行う。

マスクを正しい着用し、咳エチケットを行う。

これらのことをきちんと行うことは実は「ちかい」の“自分へのつとめ”であり、“他へのつとめ”にもつながります。予防策を誠実に心がけることは自分が感染しないだけでなく感染症の流行収束に役立つことです。このような困難な状況にあっても笑顔で快活に過ごすことも大切です。「ちかい」につながってきますね。

毎日の生活を見回してみると「ちかい」と「おきて」につながることを見つけることができるでしょう。ぜひ「ちかい」と「おきて」について考えてみてください。

ふたつ目は、進歩・進級の見直しをしてみようということです。

スカウトハンドブックを開いてみてください。得意な技能、そうではない技能があるのではないのでしょうか？ 得意なものに一層磨きをかけて、得意ではないものに取り組んでみる。そこから、やがて班集会ができるようになったときの活動のヒントが出てくることでしょう。そのために、いまの時間を活用してください。

最後にあるエピソードを紹介しましょう。日本のボーイスカウトの初代総長だった後藤新平という方は政治家であり医師でもありました。日清戦争が終わって二十数万人の兵士が中国から日本に帰ってきたときには、当時は治療法が確立していないため多くに人が命を落とすコレラやチフスといった伝染病が国内に蔓延する危機でしたが、彼が指揮をとって感染している人がいないか全員を調べて、感染者は隔離・治療して、その危機を乗り越えることができたそうです。

私たちは彼が築いた DNA を受け継ぐスカウトです。困難にも笑顔で立ち向かっていきましょう。また元気に会える日を楽しみにしています。それまでは決して油断して手洗い・うがいがおろそかになる

ことがないように気を付けて。

ベンチャースカウトのみなさんへ

良き公民としての備えを、今!!

世界的な感染拡大が確認されている新型コロナウイルスについては、皆さんもテレビやインターネットなどで知ってことと思います。

多くの学校が臨時休校になり、スカウトが集まって活動することも自粛することになって皆さんもどうしていいものか困っているのではないのでしょうか。こんな時だからこそ、「そなえよつねに」の精神で次の活動に備えましょう。あらためてベンチャースカウトハンドブックを開いてみよう。

2ページに充実した人生、幸福な人生の姿として、ベーデン・パウエル卿の最後のメッセージから「社会の一員としての自律と責任、公共心を備えた、良き公民」とあります。皆さんの「社会」で一番身近なのが家庭です。皆さんができることはたくさんあるのではないのでしょうか。家族の一員としてのつとめを果たしましょう。

隊では春から夏に向けてのプロジェクトの準備を仲間とメールやラインなどを使って意見や情報のやり取りができます。仲間と一緒に夢を語り、ふくらましていつもより充実したプロジェクトに仕上げていきましょう。

皆さんがビーバーやカブ、ボーイの時に楽しかった活動を指導者の協力をいただいて後輩たちに提供することもできます。先輩であるベンチャーの皆さんがヒントを出してくれることでビーバーやカブ、ボーイたちは楽しく毎日を過ごすことができると思います。

この機会にじっくりと技能章の細目を見てもみませんか？きっとその中に皆さんが興味関心を抱ける内容を見つけることができるでしょう。できることから始めよう。

11月には兵庫県で全国スカウトフォーラムが「私たちにできる社会貢献とは」をテーマに開催されます。まず、あなたができる社会貢献を探すために自分が住む街や市町村、千葉県、日本、外国、世界の今の様子を調べて自分が貢献できることを考えてみましょう。

また、国際社会共通の目標である「SDGs 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」への取り組みも進めてほしいと思います。ボーイスカウト日本連盟のホームページ <https://www.scout.or.jp/member/scouts4sdgs/> に記事が掲載されていますので、皆さん(たち)が行動できることを見つけてみましょう。

今は思うように活動・行動ができませんが、「ちかい」と「おきて」を読み返してスカウトとしてあるべき姿を見つめなおし、良き公民としての備えをしてまいりましょう。